公表	事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター仔鹿園			
○保護者評価実施期間	R7年11月10日	～	R7年11月25日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	39	（回答者数）	24
○従業者評価実施期間	R7年11月10日	～	R7年11月25日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	12	（回答者数）	12
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターとして発達支援の専門性を発揮し、本人支援だけでなく、家族支援も含めて総合的に支援を行うこと。	事業所内で研修委員会を組織し、専門性の担保や虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会では、より高い人権意識をもち支援ができる様に取り組んでいます。	引き続き専門性を向上させる取り組みを継続し支援を行っていきます
2	広い敷地を有しており、発達支援を行うに十分な環境で支援を行えること。	安全に遊ぶことが出来るように、敷地内の安全点検や営繕を行っています。	引き続き安全に遊ぶことのできる環境を整えていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	歴史があり、これまでの支援の積み重ねによる信頼できる発達支援を提供しているが、建物自体が老朽化してきている箇所がある。	施設の中で老朽化している箇所がある。	定期的な安全点検を行い、計画的に施設管理を行っています。
2			
3			